



## 第1回進路講演会 ～ 社会人となる皆さんへのメッセージ ～

10日（金）の総合・LHでは、今年1回目の進路講演会が行われました。講師は松原一さん（松原先生のお兄さん）、  
「社会人として」と題したテーマで、松原さんが経験したことや自らが学んだことを約一時間話していただきました。

松原さんは、大学卒業後明德義塾高校で17年間教員として勤務した後に松原スポーツ企画を立ち上げ、スポーツの企画・運営、空手道の指導、整体師としての活動と幅広く活躍しています。高校生で始めた空手道では、大学生のときに全国大会での入賞経験があり、現在は公認七段。

松原さんの話で印象に残った言葉は、



講師の松原一さん

- ・自分の人生はどこで変わっていくかわからない。
- ・心の師と技の師に出会ったことが私の人生を決めた。二人とも他人の悪口を言わなかった。
- ・中高生のときは与えられたものをするだけなのでできたが、大学生は自分が考えてやらなければならないのでできなかった。（自分が考えて行動する大切さを知った）
- ・物事の判断は、損か得か、好きか嫌いではなく、本来は善いか悪いか（心の持ち方）。これで判断すれば間違いはない。
- ・基礎（型にはまったもの）を学び、それが身につけばそれからは自分が考えて応用する。
- ・学校に通うことは、最小限必要なこと。数学や物理が嫌いでも、最低限の基礎はやっておくとよい。頭を使ったことは、社会で必ず役立つ。
- ・情報を集めるためには常にアンテナを張っておくことが大切。
- ・何かに興味をもって突き詰めていく。

最後に、社会人になるみなさんに、以下の4点を伝えて講演を終えました。

- ・心の持ち方（善悪）から、いい判断をする
- ・「座右の銘」をもつ
- ・「報告、連絡、相談」に、「確認」を加える
- ・「計画、実行、反省、研究」を繰り返す

以下は、みなさんが振り返りシートに書いた感想の抜粋です。

- ・私は、心の弱いところがあると思う。逃げたりあきらめたりすることがあるので、強くなるようになりたいです。それから、いろいろ興味をもって調べて、自分のものにできるようにしたいです。
- ・物事を判断する時には、損得ではなく、良い事と悪い事で見て決める。
- ・自分が人生で会う人はすごく少ないんだなあと思いました。結果などは努力し続けることが大切であると改めて学びました。世の理は善悪だけでは判断できない場合もあると思いますが、そのような時にまもってくれるのが心の持ち方なのかなと思いました。
- ・私も人の悪口などを言うのは嫌いなので、大人になり誰かを指導する側になった場合、教えた人などに尊敬されるような大人になりたいです。修業…技術、修行…心、このように言い方は同じでも漢字の違いで意味も変わるので、漢字、言葉、意味についても学ぶことができました。
- ・今、自分には夢というものが明確にはありません。でも松原さんの言っていたように何か一つのきっかけでもいいというのを心に刻んでおきたいと思います。
- ・自分のやりたいことを見つけるために色々努力して将来自分に合ったものを見つけられるようになりたい。
- ・私も色々なことを試みて、自分がほんとにしたい職を見つけたいです。
- ・深い話で講演を聞けて良かったです。



松原さんの話を聞きメモをとる生徒たち

## 中間試験時間割発表

中間試験の時間割が発表になりました。試験は21日(火)～25日(金)の4日間、試験終了まで気をぬくこと無く試験の準備をしましょう。

令和元年度 (1)学期(中間)試験時間割																
学 年	5/21(火)				5/22(水)				5/23(木)				5/24(金)			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
1 限	現代社会	家庭基礎	コミュニケーション英語Ⅱ	物理基礎	国語総合	数学Ⅱ	倫理	生活産業基礎	数学Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅱ	国語表現	地理A	数学A	科学と人間生活	日本史A	現代文A
6:15																
～6:55																
2 限	生物基礎	国語基礎	数学Ⅱ	英語表現Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	国語総合	化学基礎	数学Ⅱ	国語基礎	世界史A	地学基礎	英語表現Ⅰ	数学A			
7:00																
～7:40																
3 限						英語表現Ⅰ										
7:45																
～8:25																